

社会資本総合整備計画(市街地整備)

# 安心安全な住環境を推進するためのまちづくり 事後評価書

かながわけんやまとし  
神奈川県大和市

令和 2年 3月

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安心安全な住環境を推進するためのまちづくり												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成30年度 (2年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	大和市												
計画の目標	下鶴間山谷南地区周辺の既成市街地において、都市基盤である公共施設の整備改善により、大和市北部地域の「ふるさと軸上」にふさわしい、農地や樹林に囲まれた地形を生かした営農環境に配慮し、良好な低層住宅地を形成することで、『安心安全な住環境を推進するためのまちづくり』の実現を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	189	A	189	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初		H31末
1	消防活動区域困難区域の解消 消防自動車の出入りができる幅員6m以上の道路から、ホースが到達する一定距離(140m)以上離れた区域である消防活動困難区域を解消する。 幅員6m以上の道路から140m以内の面積/施行地区面積	65%	%	100%
2	公共交通利用者数を増やす 道路整備によりコミュニティバス利用者の利便性が増し、利用者数が増加する。 コミュニティバス利用者の増加=整備後のコミュニティバスの年間利用者数	115510人	人	117000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都再区画	一般	大和市	間接	大和市下鶴 間山谷南土 地区画整理 組合	-	-	大和市下鶴間山谷南土地 区画整理事業	区画整理・面積 = 3.9ha	大和市						189	1.02	-	
												小計						189		
												合計							189	

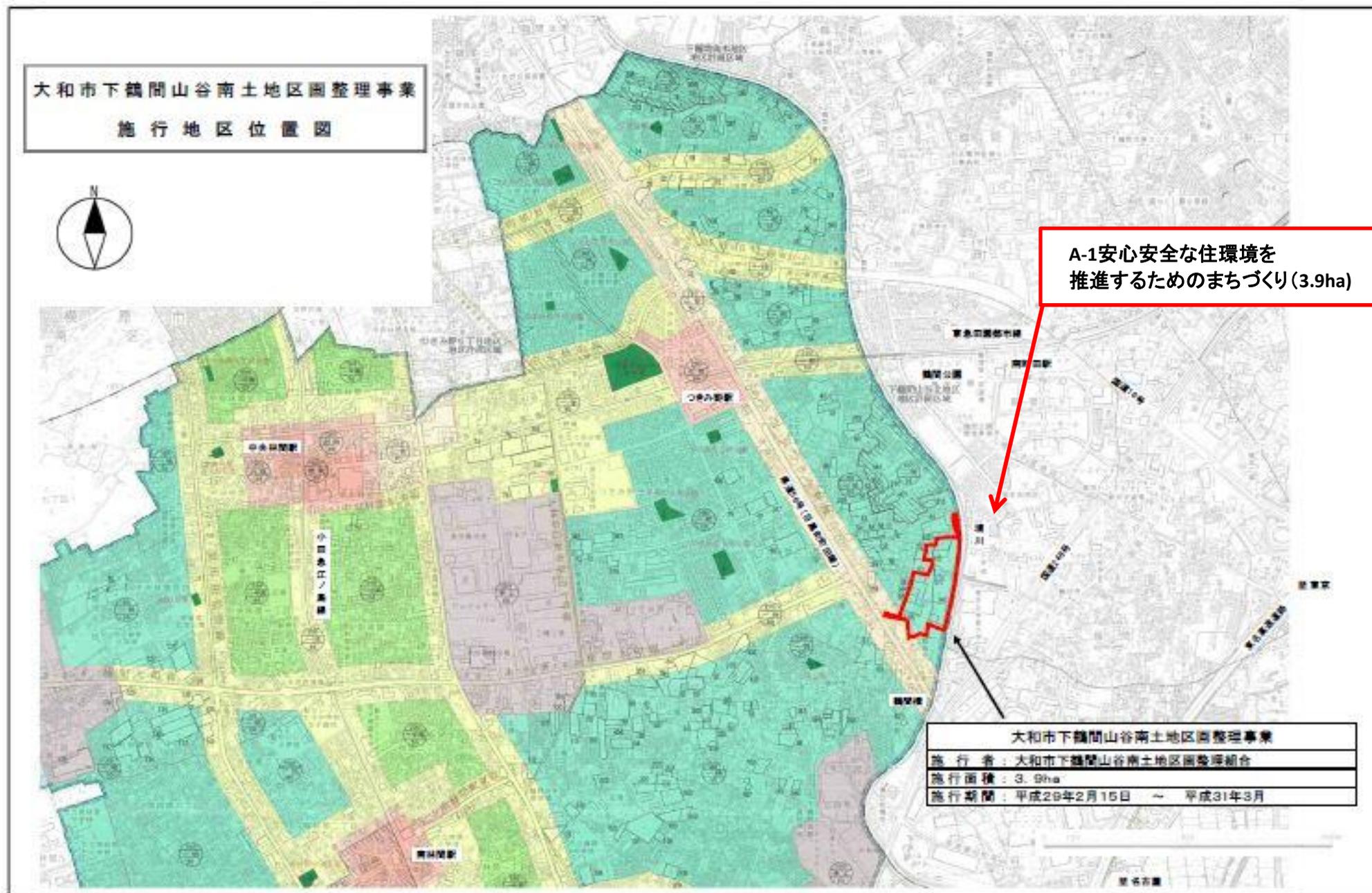
事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
策定主体にて実施 街づくり推進会議にて審議 委員構成：会長 杉崎 和久 法政大学法学部教授 副会長 菅 孝能 株式会社山手総合計画研究所取締役 知識経験委員 3名 関係団体委員 2名 市民委員 4名 実施時期：第1回 令和2年10月 9日 第2回 令和3年 3月 5日 設置根拠：大和市附属機関の設置に関する条例	令和2年3月
	公表の方法
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	土地区画整理事業の実施により、都市基盤である公共施設が整備改善されるとともに、河川の護岸より5 m以上の高さに宅地が整備された。 また、市街地農地と生産緑地を再配置し、緑地機能を保有する良好な営農環境が保全され、安心安全な住環境が創設された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新住民に対して、自治会への加入の案内をする必要がある。</li> <li>・ 土地区画整理事業により創出された良好な住環境の維持増進を図り、水と緑を生かしたふるさとが感じられる景観を形成・保全していく。</li> <li>・ 地区計画による環境緑地帯や緑化率の最低限度の設定により、積極的な緑化推進を図ると共に、樹木など緑化施設の適切な維持管理に努める。</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	消防活動困難区域解消率		
	最終目標値	100%	土地区画整理事業により、狭隘道路がなくなり、幅員 6 m 道路が整備され、消防活動困難区域が 100% 解消された。
	最終実績値	100%	
2	コミュニティバス利用者数		
	最終目標値	117000人	都市基盤である公共施設の整備、主に 6 m の街区道路が整備された。また、河川より高い（5 m）宅地の整備、営農環境の保全等、災害に強く安心安全な住環境が創設されることで、保留地も完売され、新規居住者が増えたことで、コミュニティバスの利用促進につながり、利用者が増えた。
	最終実績値	129234人	

(参考図面)

計画の名称	安心安全な住環境を推進するためのまちづくり		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成30年度 (2年間)	交付対象	神奈川県大和市



A-1安心安全な住環境を  
推進するためのまちづくり(3.9ha)